

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	TSヒマワリ	公表日 2024年12月11日
------	--------	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動によって部屋を分けたり、広いスペースを使ったりしている。危ないものは手が届かない所に配置している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		男性職員が非常勤のみ（1名）
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	使う部屋を少なくして、移動が少ないようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	来所後に清掃/アルコール消毒をしている。備品位置などを工夫している。子どもの気が散らない様に、物の配置などを随時見直している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンのため別室を都度用意している（相談室・ショート部屋など）。体調不良者は別室に移動している。	ただし、夏休み等長期休暇中は確保が難しい日がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	支援終わりに常勤職員で振り返りをしている。平日は翌日の出勤時に、土・祝・長期休みは支援後に振り返りをしている。	常勤はできている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎年アンケートを記載してもらっている。アンケート結果を踏まえてベストショットを始めた。前年度のアンケートを基に改善点を挙げた。面談や参観日を設けている。	非常勤だから分からない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	子ども部会等の研修や興味がある研修に参加している。定期的な情報共有をしており、困った事などを伝えている。会議やその都度話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		やっていないと聞いた。分かりません。行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	事業所内や法人内で定期的に研修や勉強会を行っている。市や子ども部会の研修に参加している。自立支援協議会の研修に参加している。	
適切な支援の根	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	本人様に参加の希望を取っている。プログラム会議で意見を出し合い決めている。支援前に非常勤に共有。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		非常勤だから分からない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	モニタリング会議で職員の意見交換を行っている。職員で話し合って決めている。	非常勤だから分からない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	定期的に非常勤との共有会が行われ、計画の説明がされている。共有する機会がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3		非常勤だから分からない。フォーマルなアセスメントは行っていません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	説明をもらった	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	月2回会議を行っている。非常勤の参加も増えた。プログラム会議を行っている。	非常勤だから分からない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	1日1日違うプログラムが構成されており、利用者が飽きないように取り組みがされている。外部のフェスやお祭りに行く機会が増えた。毎月違うものになるようにしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	電車に乗るプログラムがある。チームや部屋を分けて活動することで、集中して活動ができるようになる等の改善があった。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	前日や当日に行っている。非常勤は当日に行っている。アルバイトにもその日にやることや、どんなことをしてほしいか共有している。打ち合わせ時間がない場合は書面で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	平日は翌日に、休日は当日に行う日もある。非常勤は記録された振り返りを確認している。非常勤との共有会を月2回行っている。日誌にその日あった出来事が書いてあり、アルバイトにも見やすいようになっている。	分かりません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日誌にその日あった出来事が書いてあり、アルバイトにも見やすいようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	月2回モニタリング会議を行っている。3か月・6か月モニタリングを行っている。	非常勤だから分からない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	地域を歩き、交流を広げたり、多様な活動をし、子どもが主体的になっている。	複数組み合わせしていない計画もある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	外出やおやつ購入など、「自分で遊ぶ」機会を作っている。自分で考えて行動するよう取り組みがされている。プログラムに参加したくない場合は、進行職員に伝えるように促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	4		非常勤だから分からない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	市内中学校へ見学へ行っている。学校訪問を積極的に行っている。	非常勤だから分からない。うまく連携が取れていない？（学校）
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	半特は引き継ぎ時に先生と話す（その日あったことを聞くようにしている）。地域の中学校は、1学期に3校見学、先生と話をし、共有した。電話で話すときもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	6	見学に行き、情報収集は行っている。	非常勤だから分からない。中学生以上の利用者を受け入れているため、情報共有する機会がない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	必要に応じて行っている。	非常勤だから分からない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7		非常勤だから分からない。行っていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	地域が違う事業所と、太鼓体験やフライングディスク大会を行えた。JJTSあきまつりで地域のこどもたちに接客ができた。	非常勤だから分からない。交流が無かった。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		非常勤だから分からない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡票や送迎時、面談でやり時を行っている。引き継ぎの際に伝えている。面談を行い、話す機会を作っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		非常勤だから分からない。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	見学時、契約時に行っている。	非常勤だから分からない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	面談で話す機会を作っている。	非常勤だから分からない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の方には電話又は直接計画を説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	年2回行っている。	非常勤だから分からない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	8月イベントを行った。きょうだい児支援への促し。家族が参加できるプログラムが行われている。BBQや茶話会など交流する機会を設けている。きょうだい同士で交流する機軸は法人で設定している。	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		非常勤だから分からない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	インスタの配信。月1回ベストショットをLINEで配信。誰が見ても分かりやすいようになっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	対象の方には個別で連絡を入れている。	非常勤だから分からない。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	JJヒマワリと合同であきまつりを開催した。事業所行事の他に、地域の行事にも参加する取り組みがある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	契約時に伝達している。研修などでも共有されている。引き渡し訓練を年1回行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	月1でJJヒマワリと合同で行っている（職員）。年2回、TSヒマワリ内の活動中に行っている。9月に引き渡し訓練を行った。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	服薬の確認は行っている。契約時のアセスメントで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	6	対象児がいない	非常勤だから分からない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	5		非常勤だから分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	月1回行っている。非常勤とは共有会（月2回）を行い、話す機会を作っている。アルバイトにも共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年3回勉強会を行っている。半田市提供のものや、法人内の研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	同意書を得て、行っている。対象の方に説明を行っている。	